

家庭数

令和元年9月24日

保護者 様

市川市立曾谷小学校
校長 野口 敏樹

麻しん（はしか）への対応について（お知らせ）

爽秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、県内では、平成28年7月以降、麻しんの発生が続いています。先週には、市川市内小学校の児童1名が麻しんに罹患したという情報がありました。麻しんは、非常に感染力が強く、また、発症すると重篤な疾患を合併しやすく、死に至る危険性もある重大な感染症です。

つきましては、お子様への感染防止のため、下記をご参照の上、ご対応をよろしくお願いいたします。

記

症状

潜伏期間は、約10～12日です。感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で肺炎が発症するといわれています。

感染経路

麻しんは、麻しんウイルスによっておこります。空気中の麻しんウイルスを吸い込むことによる感染（空気感染）や、咳やくしゃみなどに含まれたしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ウイルスに直接触れる接触感染で起こり、その感染力は非常に強いといわれています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続するといわれています。

予防

麻しんは、生ワクチンの接種により感染を予防することが可能です。小学生以上の児童生徒は、これまでに二回のMRワクチン（麻しん、風しん混合ワクチン）を接種されているはずですが、まだ二回の接種が終わっていない方は、なるべく早く医療機関で接種するようにお勧めします。

また、麻しんが疑われる症状が現れた場合は、早急に医療機関を受診してください。なお、受診前には、「発熱している」「発疹が出ている」等の情報を医療機関へ連絡してから、受診するようにしてください。